



株式会社 **カワタ**

証券コード 6292



株主のみなさまへ

第64期 報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

さまざまな分野に貢献する カワタの機器&システム

● 医薬品
Pharmaceuticals



● 食品
Food



● 化粧品
Cosmetics



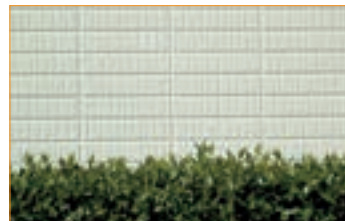
● 顔料
Pigment



● 液晶用光学フィルム
Glass for LCD



● 建材
Construction materials



● プラスチック
Plastic



● セラミック
Ceramic



● 金属
Metal



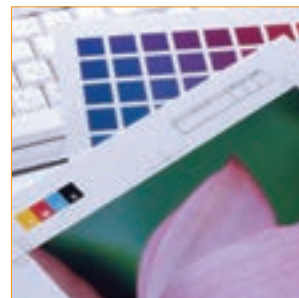
● 太陽電池
Solar cell



カワタの理想的な
ミキシング技術が、
幅広い分野と多様なニーズに、
お応えしています

KAWATA's ideal mixing technology
meets the diverse needs of a wide
range of field.

● カラートナー
Color Toner



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社の第64期報告書をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

世界経済は一部持ち直しの動きもあるものの、全体としては減速感が広がり、弱い回復となっております。先進国におきましては、欧州の債務問題、米国の財政問題、高水準の失業率等、先行きに対するリスクが存在しております。一方、新興国の経済成長率も高水準ではありますが、その拡大テンポは鈍化しております。

わが国経済は、復興需要を背景として緩やかな回復を続けておりましたが、世界経済の減速、領土を巡る近隣諸国との緊張の長期化等の景気の下押し要因が発生し、年明け以降は円安・株高傾向等、明るい兆しも見え始めてはいるものの、企業の業況判断には慎重さが見られます。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は11月が前月比3.9%増、12月が前月比3.0%増となった後、1月が前月比13.2%減と大きく落ち込み、2月で前月比8.6%増と持ち直したものの、弱含んだ動きとなっております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、売上高は前年好調であったフィルム、シート等の液晶・電子部品関連の需要に一服感が出てきたものの、中国、東南アジアの需要が総じて堅調に推移し、中でもタイの洪水被害からの復興需要に着実に対応したことにより、前年同期比15億9千9百万円増（同11.9%増）の150億5千8百万円となりました。

損益面では、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、材料費を中心とした原価低減や諸経費の低減努力を継続したこと等により、営業利益は前年同期比1億6千6百万円増（同30.9%増）の7億7百万円、経常利益は前年同期比2億2千2百万円増（同48.2%増）の6億8千2百万円となりました。

しかしながら、特別損益では前年度はマレーシア生

産子会社の清算手続きに伴う固定資産売却益4千7百万円を特別利益に計上していたのに対し、当年度は同社の資本金を95%有償減資したことによる為替換算調整勘定取崩額9千5百万円を特別損失に計上し、法人税、住民税及び事業税も前年同期比1億9百万円増の2億7千3百万円となったこと等により、当期純利益は前年同期比1億2千8百万円減（同39.9%減）の1億9千2百万円となりました。



世界経済は、全体としては減速しております。わが国経済も円安・株高傾向等、明るい兆しも見え始めてはおりますが、一方では原油、食品等の輸入価格の上昇要因もあり、実体経済および設備投資の回復は現時点では予測が困難な状況であります。

当社グループでは、かかる環境下、コア事業におきまして、生産拠点（日本、中国、東南アジア）および営業・サービス拠点（日本、中国、台湾、東南アジア、米国）相互の連携を強固にし品質、コスト、納期面での競争力を一層強化することにより、グローバル化するユーザーニーズへ対応しマーケットシェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。一方、高付加価値製品の開発や電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大にも積極的に経営資源を投下することにより、市場対応力のある企業として成長を続け、企業価値・株主価値を高めるとともに、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、内部統制システムの整備・運用と改善の継続、人材の育成と強化により、経営体質の一層の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月27日

代表取締役社長 白井 英徳

セグメント情報

日本におきましては、前年好調であった液晶・電子部品関連の需要に一服感が出てきたこと、製造業の設備投資の海外シフトが進み国内需要が総じて低調であったこと等により、売上高は前年同期比7億4千7百万円減（同7.1%減）の97億3千6百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比1億6千1百万円減（同30.0%減）の3億7千5百万円となりました。

東アジアにおきましては、中国の生産子会社における生産・販売が好調であったこと等により、売上高は前年同期比11億8千7百万円増（同39.3%増）の42億1千万円となり、中国における賃金上昇や台湾におけるEMS産業の設備投資鈍化による利益減少要因はあるものの、セグメント利益（経常利益）は前年同期比1億6千5百万円増（同88.1%増）の3億5千4百万円となりました。

東南アジアにおきましては、自動車関連の需要が堅調に推移したこと、タイの洪水被害からの復興需要に着実に対応したこと等により、売上高は前年同期比13億1千6百万円増（同109.2%増）の25億2千1百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比1億3千3百万円増（同1,091.9%増）の1億4千5百万円となりました。

北米におきましては、売上高は前年同期比1億5千万円増（同74.7%増）の3億5千2百万円となりましたが、営業費用も増加しセグメント損失（経常損失）が8百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

（単位：百万円）

	日 本	東 ア ジ ア	東南アジア	北 米	合 計	調 整 額	連結財務諸表 計 上 額
売上高							
外部顧客への売上高	9,156	3,072	2,479	350	15,058	—	15,058
セグメント間の内部売上高又は振替高	579	1,137	42	1	1,761	△1,761	—
計	9,736	4,210	2,521	352	16,820	△1,761	15,058
セグメント利益又は損失（△）	375	354	145	△8	866	△183	682
セグメント資産	12,055	2,542	971	142	15,712	△1,141	14,570

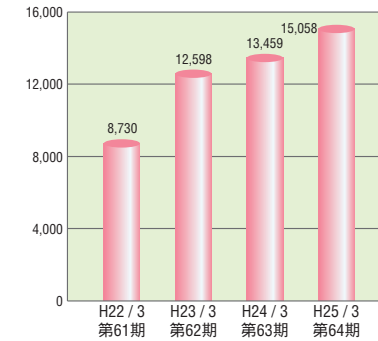
地域別売上高

（単位：百万円）

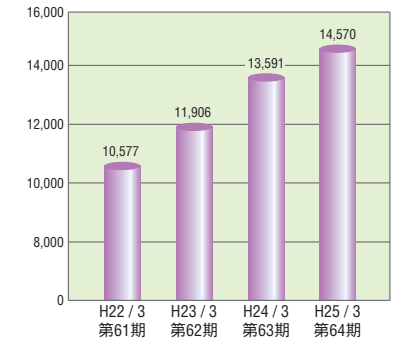
日 本	東 ア ジ ア	東南アジア	北 米	その他の地域	合 計
8,075	3,465	2,972	388	157	15,058

（注）顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

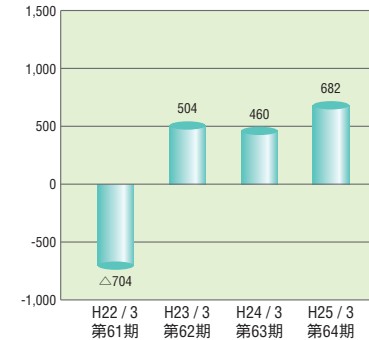
● 売上高 （単位：百万円）



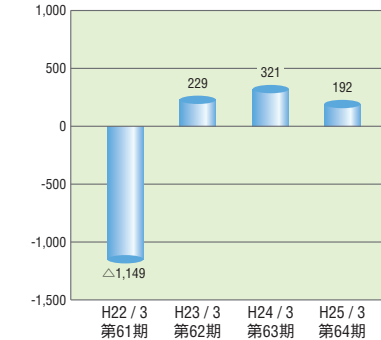
● 総資産 （単位：百万円）



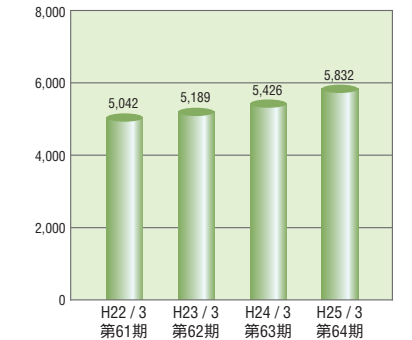
● 経常利益 （単位：百万円）



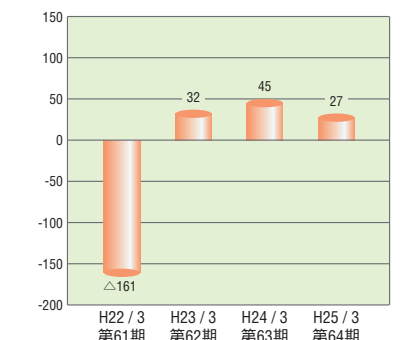
● 当期純利益 （単位：百万円）



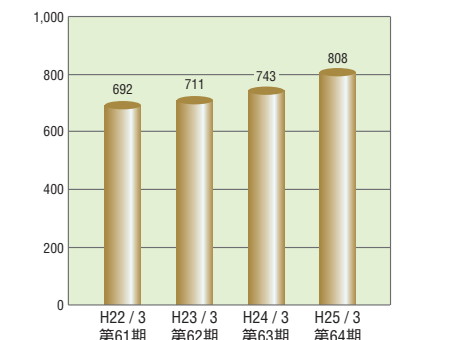
● 純資産 （単位：百万円）



● 一株当り当期純利益 （単位：円）



● 一株当り純資産 （単位：円）



（注）記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

連結決算情報

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	10,598	10,528
固定資産	3,972	3,063
有形固定資産	2,916	2,623
無形固定資産	456	26
投資その他の資産	598	413
資産合計	14,570	13,591
【負債の部】		
流動負債	5,385	4,310
固定負債	3,353	3,854
負債合計	8,738	8,164
【純資産の部】		
株主資本	5,682	5,544
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	3,678	3,539
自己株式	△ 42	△ 41
その他の包括利益累計額	41	△ 275
少数株主持分	107	157
純資産合計	5,832	5,426
負債純資産合計	14,570	13,591

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	15,058	13,459
売上原価	10,567	9,961
売上総利益	4,490	3,498
販売費及び一般管理費	3,783	2,957
営業利益	707	540
営業外収益	122	55
営業外費用	147	135
経常利益	682	460
特別利益	8	87
特別損失	117	25
税金等調整前当期純利益	574	522
法人税、住民税及び事業税	273	164
法人税等調整額	43	2
少数株主損益調整前当期純利益	257	355
少数株主利益	64	34
当期純利益	192	321

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,272	△ 686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,144	△ 532
財務活動によるキャッシュ・フロー	94	1,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	220	△ 45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	443	37
現金及び現金同等物の期首残高	3,326	3,288
現金及び現金同等物の期末残高	3,769	3,326

単体決算情報

● 貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	5,038	6,227
固定資産	4,937	3,627
有形固定資産	2,392	2,282
無形固定資産	0	1
投資その他の資産	2,543	1,344
資産合計	9,975	9,855
【負債の部】		
流動負債	2,870	2,089
固定負債	2,698	3,488
負債合計	5,569	5,578
【純資産の部】		
株主資本	4,349	4,255
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	2,345	2,250
自己株式	△ 42	△ 41
評価・換算差額等	56	21
純資産合計	4,406	4,276
負債純資産合計	9,975	9,855

● 損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	6,780	7,783
売上原価	5,442	6,220
売上総利益	1,338	1,563
販売費及び一般管理費	1,487	1,477
営業利益又は営業損失(△)	△ 148	85
営業外収益	382	365
営業外費用	185	99
経常利益	47	351
特別利益	124	—
特別損失	—	0
税引前当期純利益	172	350
法人税、住民税及び事業税	24	24
当期純利益	148	326

トピック (新製品紹介)

新型脱湿乾燥機
チャレンジャー
コンパクトDRC-30Z



- 新発想の1ヒータ方式により、大幅な節電が可能…従来比約50%低減
- シンプル設計で低価格を実現…従来比約20%低減
- 操作性と省スペースを両立…設置面積従来比約25%低減

会社概要

(平成25年3月31日現在)

商号	株式会社カワタ
	(KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立	昭和26年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	169名(連結720名) (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)
株主数	1,049名

主な事業所

本社	大阪市西区
仙台営業所	仙台市太白区
東京営業所	東京都中央区
高崎営業所	群馬県高崎市
北関東営業所	栃木県小山市
南関東営業所	神奈川県厚木市
静岡営業所	静岡市駿河区
名古屋営業所	名古屋市東区
大阪営業所	大阪市西区
広島営業所	広島市南区
九州営業所	福岡市博多区
三田工場	兵庫県三田市

役員 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	白井英徳
取締役	森畑秀則
取締役	藤坂祐宏
取締役	柴孝幸
取締役	白石互彰
取締役	尾崎一彰
取締役	荒川慎一
取締役	高塚雅博
常勤監査役	城内重治
監査役	内田重胤
監査役	軸丸重欣
	徳則宏幸
	互彰一彰
	慎一博治
	胤哉



設計、開発、生産拠点 (三田工場)

カワタグループ紹介



【国内】

(株)カワタテクノサービス	大阪市西区
(株)サーモテック	大阪市西成区
エム・エルエンジニアリング(株)	静岡県藤枝市
(株)レイケン	東京都中央区
(株)カンゲン	東京都中央区

【海外】

カワタU.S.A. INC.	米国 ペンシルバニア州
カワタパシフィックPTE. LTD.	シンガポール国
カワタタイランドCO., LTD.	タイ国 バンコク市
カワタマーケティングSDN. BHD.	マレーシア国 ネゲリセムビラン州
川田機械製造(上海)有限公司	中華人民共和国 上海市
PT. カワタインドネシア	インドネシア共和国 西ジャワ州
川田国際股份有限公司	中華民国 台湾省 新竹市
川田機械香港有限公司	中華人民共和国 香港特別行政区
冷研(上海)貿易有限公司	中華人民共和国 上海市

株式情報

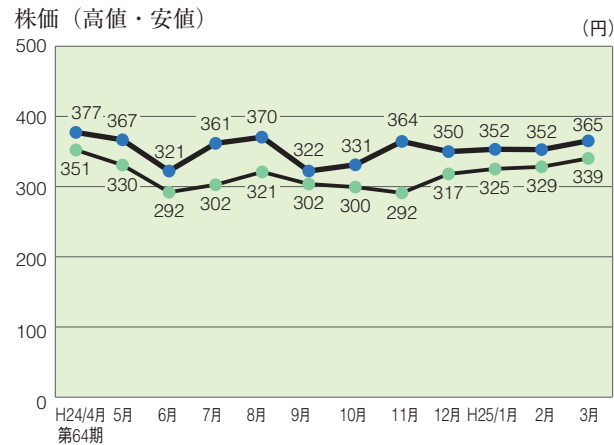
- 発行可能株式総数 20,000,000株
- 発行済株式の総数 7,210,000株
- 単元株式数 1,000株
- 株主数 1,049名
(前期末比51名減)

大株主の状況

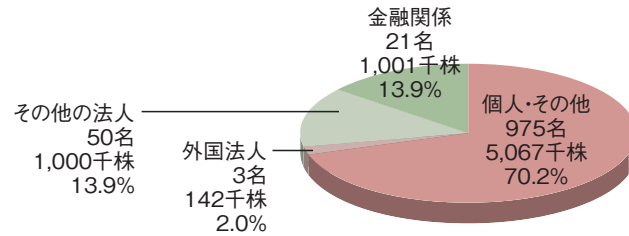
株主名	持株数
カワタ共伸会	767千株
カワタ従業員持株会	539
株式会社三菱東京UFJ銀行	351
高塚雅博	350
太田敏正	318
川田昌美	184
森川順	150
川田修弘	144
日本生命保険相互会社	137
有限会社エステートカワタ	119

(注) 上記のほか、自己株式が125千株あります。

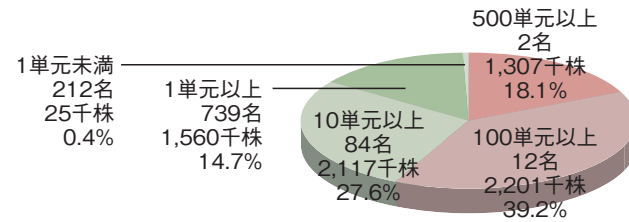
株価チャート



所有者別分布表



所有株式数別分布表



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告
当社ホームページに掲載
- 会計監査人 新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.kawata-mfg.co.jp/>
(<http://www.kawata.cc/>)



トップページ



投資家の皆さまへ